

# 自己評価表

愛媛県立丹原高等学校  
(13)

|      |  |      |   |
|------|--|------|---|
| 教育方針 | 人権を尊重し、個性と能力を伸ばす教育活動を展開する中で「生きる力」を育て、知・徳・体の調和のとれた個性豊かな人材の育成に努める。 | 重点目標 | 生徒一人一人の豊かな学びの実現<br>ーよりよい進路選択と自己実現のためにー<br>1 確かな学力の育成<br>2 3年間を見通したキャリア教育・進路実現<br>3 豊かな心の育成<br>4 活力あふれる学校づくり<br>5 安全・安心で信頼される学校づくり |
|------|--|------|---|

| 領域       | 評価項目                 | 具体的目標  | 評価 | 目標の達成状況  | 次年度の改善方策   |
|----------|----------------------|--|----|--|--|
| 確かな学力の育成 | 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得 | ○学習習慣の確立<br>Classi による家庭学習時間の記録 100%<br>ClassiWeb ドリル解答数延べ 4,000 問<br><u>A4,000 問以上</u> B3,999~3,500 問<br><u>C3,499~3,000 問</u> D2,999~2,500 問<br><u>E2,499 問以下</u><br><br>○生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導<br>生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上<br><u>A90%以上</u> B89~80% C79%~70%<br><u>D69~60% E59%以下</u><br><br>○ICT を活用したり、対話的・主体的で深い学びの授業の取組<br>生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上<br><u>A90%以上</u> B89~80% C79%~70%<br><u>D69~60% E59%以下</u> | B  | 1年 85%      2年 66%<br>3年 66%<br><br>21,189 問解答<br><br>よくできた(A)、大体できた(B)と回答した生徒 88%<br>保護者 93%<br>教職員 96%<br><br>(A)、(B)と回答した生徒 84%<br>保護者 88%<br>教職員 98% | 学習状況調査期間には多くの生徒が学習時間の記入をしていたが、そのほかの月は限られた生徒のみになった。課題配信等についても Classi の利用が限られた教員のみだったため、多くの教員の積極的な利用を呼び掛ける。<br><br>ICT を利用した授業の定着が見られた。引き続き取り組みたい。 |

| 領域               | 評価項目                  | 具体的目標   | 評価 | 目標の達成状況   | 次年度の改善方策   |
|------------------|-----------------------|---|----|---|--|
|                  | 自己の考えを深化させ表現できる能力の育成  | <p>○課外授業の充実<br/>課外授業参加者年間延べ 5,000 人以上<br/><u>A5,000 人以上 B4,999~4,500 人</u><br/><u>C4,499~4,000 人 D3,999~3,500 人</u><br/><u>E3,499 人以下</u></p> <p>○総合的な学習の時間での課題研究<br/>発表ポスター数 40 枚以上<br/><u>A40 枚以上 B39~30 枚 C29~20 枚</u><br/><u>D19~10 枚 E9 枚以下</u></p>                        | C  | <p>土曜補習<br/>1、2年 6回 延べ846人<br/>3年 3回 延べ102人</p> <p>朝補習<br/>1年 30回 延べ1,234人<br/>2年 33回 延べ1,173人<br/>3年 53回 延べ1,325人<br/>合計 3,732人</p> <p>1年生全員がレポートを作成<br/>各クラスの代表2グループが<br/>ポスターセッションを実施。<br/>2年生全員がポスターを作成<br/>10グループがポスターセッ<br/>ションを実施。</p> | 総合的な学習の時間、探究の時間の実施時数を確保するのが難しく、研究内容を深めるのができなかった。また、3年生は進路決定後の活動の充実を図りたい。 |
| 3年間を見通したキャリア教育・進 | 生涯を見通した人生の設計を行う能力の育成  | <p>○キャリアパスポートノートの効果的な活用<br/>キャリアパスポートノート活用率 100%</p> <p>○早い段階での進路指導の明確化<br/>進路希望未定者数各学年0人</p>   | B  | <p>進路講演会や大学・企業見学、総学・総探の研究で全員活用している。<br/>進路未決定者(1月31日現在)<br/>1年24名 2年7名 3年0名</p>   | キャリアパスポートの効果的な活用の検証を行い、1年次からの進路指導の充実を図りたい。                               |
|                  | よりよい進路選択を主体的に行える能力の育成 | <p>○より高い志をもった進路選択の実現<br/>就職希望 100%実現<br/><u>国公立大学 15 名合格</u><br/><u>松山大学 15 名合格</u><br/><u>それぞれ</u><br/><u>A15 人以上 B14~10 人 C9~5 人</u><br/><u>D4~1 人 E0 人</u></p> <p>○適切な進路情報の提供<br/>生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 80%以上<br/><u>A80%以上 B79~70% C69%~60%</u><br/><u>D59~50% E49%以下</u></p> | B  | <p>国公立大学 11 名合格<br/>(3月22日現在)<br/>松山大学 27 名合格<br/>(3月22日現在)</p> <p>(A)、(B)と回答した生徒 91%<br/>保護者 87%<br/>教職員 95%</p>   | 国公立大学 15 名、松山大学 15 名を目指したい。また、1年次より自習室を活用するよう、さらに呼び掛けたい。                 |

| 領域          | 評価項目                  | 具体的目標  | 評価 | 目標の達成状況   | 次年度の改善方策   |
|-------------|-----------------------|--|----|---|--|
| 路<br>実<br>現 | よりよい進路選択を主体的に行える能力の育成 | ○3年間を見通した進路指導<br>生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 80%以上<br><u>A 80%以上 B 79~70% C 69%~60%</u><br><u>D 59~50% E 49%以下</u>   |    | (A)、(B)と回答した生徒 88%<br>保護者 84%<br>教職員 89%  |  |
| 豊かな心の育成     | 人間としての在り方の自覚を醸成       | ○基本的生活習慣の確立<br>1か年皆勤率 60%以上<br><u>A 60%以上 B 59~50% C 49%~40%</u><br><u>D 39~30% E 29%以下</u><br>○生徒の気持ちのよい挨拶<br>生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上<br><u>A 90%以上 B 89~80% C 79%~70%</u><br><u>D 69~60% E 59%以下</u> | A  | 1年 44.2% 2年 66.4%<br>3年 64.8%<br><br>(A)、(B)と回答した生徒 93%<br>保護者 95%<br>教職員 91%                     | 継続した基本的生活習慣の確立の指導と挨拶の励行を行っていききたい。  |
|             | 人生をよりよく生きようとする態度の育成   | ○ボランティア活動等の体験活動の自主的・積極的参加<br>ボランティア活動参加者延べ 500人以上<br><u>A 500人以上 B 499~400人</u><br><u>C 399~300人 D 299~200人</u><br><u>E 199人以下</u>   | D  | 西条市SIB事業<br>普通科 10名 園芸科学科 4名<br>竹林整備等<br>普通科 30名 園芸科学科 10名<br>寄せ植え講習会等<br>園芸科学科 200名参加<br>合計 254名 | 例年、参加しているボランティア活動等がコロナ禍の関係でほとんど中止となり、生徒たちはあまり参加できなかった。来年度は、感染予防策をとった上で参加できる活動には多くの生徒に参加を呼び掛け、様々な経験を積ませたい。<br>園芸科学科の寄せ植え講習会などに、普通科の生徒も参加させたい。 |

| 領域  | 評価項目                       | 具体的目標  | 評価 | 目標の達成状況   | 次年度の改善方策   |
|---|----------------------------|--|----|---|--|
|   | 他者への思いやりや感動する心など豊かな人間性の育成  | <p>○人権侵害を「しない・させない・許さない」指導<br/>生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上<br/><u>A 90%以上 B 89~80% C 79%~70% D 69~60% E 59%以下</u></p> <p>○学校行事の真剣な取組<br/>生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上<br/><u>A 90%以上 B 89~80% C 79%~70% D 69~60% E 59%以下</u></p>  | A  | <p>(A)、(B)と回答した生徒 92%<br/>保護者 96%<br/>教職員 95%</p> <p>(A)、(B)と回答した生徒 94%<br/>保護者 97%<br/>教職員 100%</p>              | <p>引き続き、関連団体との連携を深め、人権・同和教育の充実を図りたい。</p> <p>生徒が主体的に企画・運営できる学校行事の充実を図りたい。</p>                     |
| 活<br>力<br>あ<br>ふ<br>れ<br>る<br>学<br>校<br>づ<br>く<br>り | 積極的にチャレンジする心身ともにたくましい生徒の育成 | <p>○部活動への加入率の向上と活動の充実<br/>部活動加入率 90%以上<br/><u>A 90%以上 B 89~80% C 79%~70% D 69~60% E 59%以下</u></p> <p>○積極的な資格、検定試験、コンテストへの応募等の励行</p> <p>○より高いレベルの大会の出場<br/>県総体 80 人、<br/><u>A 80 人以上 B 79~70 人 C 69~60 人 D 59~50 人 E 49 人以下</u><br/>高文祭 30 人以上<br/><u>A 30 人以上 B 29~25 人 C 24~20 人 D 19~15 人 E 14 人以下</u></p> | B  | <p>部活動加入率 84.8%</p> <p>商業関係検定、実用英語検定を中心に、269 名の生徒が合格した。</p> <p>県総体中止<br/>高文祭 15 名（コロナによる入場制限のため、例年より少人数になった。）</p> | <p>部活動の意義や役割を説明し、部活動の活性化を図りたい。</p> <p>今年度以上に資格試験を励行したい。</p> <p>県総体 80 名、高文祭 30 名以上の出場を目指したい。</p> |

| 領域            | 評価項目           | 具体的目標   | 評価 | 目標の達成状況  | 次年度の改善方策  |
|---------------|----------------|---|----|--|---|
|               | 地域貢献できる生徒の育成   | <p>○園芸科学科を核とした地域の方が参加できる事業の充実<br/>           菊花展 1,000 人<br/> <u>A1,000 人以上 B999~900 人</u><br/> <u>C 899~800 人 D799~700 人</u><br/> <u>E 699 人以下</u><br/>           苗販売 500 人以上<br/> <u>A500 人以上 B499~400 人</u><br/> <u>C399~300 人 D299~200 人</u><br/> <u>E199 人以下</u><br/>           園芸講習会 40 回以上<br/> <u>A40 回以上 B39~30 回 C29~20 回</u><br/> <u>D19~10 回 E9 回以下</u></p> <p>○グローバルGAP認証を生かした園芸科学科、普通科の生徒の積極的な関与<br/>           認証に係る生徒 50 人以上<br/> <u>A50 人以上 B49~40 人 C39~30 人</u><br/> <u>D29~20 人 E19 人以下</u></p> | B  | <p>菊花展 734 名 苗販売 300 名<br/>           園芸講習会 10 回</p> <p>グローバルGAP（ブドウ）を継続認証できたほか、県GAP認証取得件数 6 品目（イネ、ダイコン、ハクサイ、ブロッコリー、メロン、イチゴ）</p> | <p>コロナ禍ではあったが、感染予防に配慮した上で実施することができた。<br/>           講習会などに参加し指導をする生徒の養成と人数を増やし、地域の方々と接する機会を増やすことで、さらに丹原高校の良さをアピールしたい。</p> <p>普通科生徒にもGAP認証取得や海外プロモーション活動の企画・準備に係る機会を増やし、学校全体としてさらに取り組んでいきたい。</p> |
| 安全・安心で信頼される学校 | 教職員自らの資質・能力の向上 | <p>○教職員研修の充実<br/>           校内研修会 <u>5 回以上</u> 実施、校外研修会参加延べ 40 人以上</p> <p>○組織的な授業改善<br/>           授業研究実施 10 回以上</p>  | B  | <p>校内研修会 7 回実施<br/>           校外研修 延べ 48 名参加<br/>           授業研修 9 回実施</p>   | <p>1 週間程度の相互授業研修、公開授業参観を年 3 回実施し、引き続き授業改善に努めたい。</p>   |
|               | 安全・安心な教育環境の改善  | <p>○教育相談体制の充実<br/>           生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上<br/> <u>A90%以上 B89~80% C79%~70%</u><br/> <u>D69~60% E59%以下</u></p> <p>○校内施設・設備の整備<br/>           施設整備実施 30 か所以上</p>  | A  | <p>(A)、(B) と回答した生徒 90%<br/>           保護者 91%<br/>           教職員 100%</p> <p>47 か所修繕</p>   | <p>校内研修等により、教職員間で情報を共有し、支援を要する生徒のきめ細かい指導の充実を図りたい。</p> <p>不要物品の処分や危険個所の修繕等、校内の整備・美化に努めたい。</p>  |

| 領域   | 評価項目                    | 具体的目標   | 評価 | 目標の達成状況   | 次年度の改善方策  |
|------|-------------------------|---|----|---|---|
| づくり  | 安全・安心な教育環境の改善           | <p>○防災マニュアルの適切な運用<br/>生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上<br/>A 90%以上 B 89~80% C 79%~70%<br/>D 69~60% E 59%以下</p> <p>○生徒の自己管理能力の向上と登下校中の事故をなくす<br/>事故発生件数 0 件</p>   | A  | (A)、(B)と回答した生徒 95%<br>保護者 95%<br>教職員 93%<br><br>事故件数 0 件  | 安全で安心な学校生活を送れるよう安全意識の高揚を高めるとともに、生徒の防災士の取得を年 3 名にしたい。<br>生徒一人一人の交通安全に対する意識が高まり、交通ルールを守った登下校を今後も継続していきたい。 |
|      | 積極的な情報収集・発信による開かれた学校づくり | <p>○保護者や地域との交流<br/>生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上<br/>A 90%以上 B 89~80% C 79%~70%<br/>D 69~60% E 59%以下</p> <p>○ホームページによる積極的な情報発信<br/>ホームページアクセス数<br/>1 日平均 700 以上<br/>A 700 以上 B 699~600 C 599~500<br/>D 499~400 E 399 以下</p> | A  | (A)、(B)と回答した生徒 82%<br>保護者 95%<br>教職員 100%<br><br>1 日平均 700 件以上                                    | 外部からの意見を聞き、学校改善を図りたい。<br><br>保護者や地域の方々への魅力ある情報の発信を行い、開かれた学校づくりに努めたい。                                    |
| 業務改善 | 適切な勤務時間                 | ○教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。  | B  | 勤務時間が長い教職員には、管理職が声かけを行ったほか、臨時休業中や長期休業中には時差出勤を奨励し、時間の有効活用を図った。                                     | 全員が少しでも早く退勤できる雰囲気をつくっていききたい。  |
|      | 職場環境の整備                 | ○教職員の健康相談を定期的を実施するとともに、職員室等の環境整備に努める。   | B  | 衛生委員会から「健康相談室だより」を教職員に配布し、県教委教職員厚生室からの健康相談に関する情報を周知した。<br>職員室では、LAN 回線の整理、コピー機の配置換えを行うなど環境整備に努めた。 | 教職員の健康相談を今まで以上に実施するとともに、風通しの良い職場作りを目指し、普段から職員同士のコミュニケーションが図れる場を設け、環境整備に努めてまいりたい。                        |